

3月10日の基準価額の下落について

2020年3月10日に基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドについてお知らせいたします。

【該当ファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	前営業日比騰落率
パインブリッジ米国REITインカムファンド Aコース (愛称：パイリナル)	9,354円	-672円	-6.70%
パインブリッジ・ワールド株式・オープン	5,642円	-405円	-6.70%
パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース (愛称：パイリナル)	7,847円	-497円	-5.96%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド<為替ヘッジあり> (愛称：未来インフラ<為替ヘッジあり>)	9,734円	-556円	-5.40%

【市場動向】

	3月6日	3月9日	6日から9日の騰落率
MSCI米国REIT指数	1,223.75	1,127.67	-7.85%
MSCIワールド株式指数	2,149.29	1,995.22	-7.17%
S&P500種株価指数	2,972.37	2,746.56	-7.60%
ダウ工業株30種平均	25,864.78	23,851.02	-7.79%

	3月9日	3月10日	9日から10日の騰落率
日経平均株価	19,698.76	19,867.12	+0.85%
TOPIX(東証株価指数)	1,388.97	1,406.68	+1.28%
円/米ドル	102.01	103.28	+1.24%

<下落の背景について>

市場の変動率が高まっている中、前日の東京時間に新たに弱気材料として出てきた原油の価格競争懸念が米国市場にも連鎖しました。米国株はNYダウが2,000ドルを越す史上最大値幅の下げを記録しました。一時、取引制限（サーキットブレーカー）も発動されましたが下げ足を止めるに至らず、S&PとNYダウは共に前日比約8%の下落となりました。また米10年債利回りも一時0.5%を割り込み、同30年債も終値ベースで初の1%割れとなりました。そして原油は25%安と湾岸戦争以来の大幅安を記録しました。今回の原油安は45年ぶりに世界生産量首位となった米国の経済活動に影響を及ぼすだけでなく、米エネルギーセクターの発行が多いハイールド債を通じてクレジット市場にもスプレッド拡大という形で影響を及ぼしました。原油価格については、産油国が低水準の価格を放置して不利益を被る状態が放置されるとは考えにくいものの、しばらく注視が必要な状況です。一方で新型肺炎の感染者が増加している米国では、先日の金融緩和策に加えて財政政策が検討され始めています。これらは直接的なカンフル剤ではありませんが、長い目では市場回復を早める素地になると考えております。今後も引き続き市場動向に細心の注意を払って参ります。

■当資料は、「3月10日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会／一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

重要な注意事項：投資信託に関する留意点

お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する個々の費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面をご覧ください、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

【お申込みに際しての留意事項】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様の投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面を必ずご覧ください。

【ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます】

●投資信託に係る費用について

申込時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料（申込手数料） 上限3.85%（税抜3.5%）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限 0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年1.98%（税抜1.8%）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■当資料は、「3月10日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

